

令和4年(2022年)6月 花き部 主要品目の市況

種類	品名	市況の概要	2022年6月 数量	2022年6月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価	
1	キク	愛知県・長崎県が主要産地です。白菊の需要が高く、全体の入荷量は増加しました。平均単価は安く推移しました。	777,825	46	112%	80%	
2	バラ	群馬県・岡山県が主要産地です。入荷量はやや増加しました。平均単価は前年並みで推移しました。	110,156	64	109%	99%	
3	切花	カーネーション	北海道・コロンビアが主要産地です。円安等の影響で輸入物の入荷は減少したが、全体の入荷量は前年並みでした。平均単価はやや高く推移しました。	362,220	49	98%	104%
4		かすみ草	福島県が主要産地です。入荷量はやや減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	43,800	90	87%	108%
5		グラジオラス	茨城県が主要産地です。植え付け後の低温によって生育が遅れ、入荷量は大幅に減少しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	8,810	99	49%	155%
6	鉢物	ペゴニア	神奈川県が主要産地です。全体生産量の減少により入荷量は大幅に減少しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	67	510	6%	269%
7							
8							

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)-0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上